

(リスクアセスメント)作業手順書 コンクリート簡易補修作業

会社名	中日本ハイウェイメンテナンス(株)	施工ケース	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和5年12月1日		クレーン付トラック、平トラック	発電機、ハンマードリル	ヘルメット、耐切削手袋、安全靴、安全チョッキ、保護眼鏡、墜落制止用器具	ターマラストスプレー缶
改訂日			高所作業車、テーブルリフト	ディスクサンダー		亜硝酸リチウムゲル含侵材
作成者	長谷部					かため太郎スプレー缶
必要資格等	運転免許(旧普通・中型)、職長教育講習、移動式クレーン技能講習、玉掛技能講習、振動工具安全衛生教育、高所作業車運転技能講習、自由研削砥石等取り替え、試運転特別教育、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育			作業人員	2名	その他
				保安人員	1名	

可能性	1:ほとんど起きない (5年に1回程度)	2:たまに起きる (1年に1回程度)	3:かなり起きる (6ヶ月に1回程度)
	頻度率:1	頻度率:2	頻度率:3

重大性	軽微 (不休災害)	重大 (休業災害)	極めて重大 (死亡・障害)
	危険度:1	危険度:2	危険度:3

評価	対策変更の 必要なし	対策が必要	即座に対策 が必要
	1~2	3~4	5~9

作業工程	施工ケース	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	評価		危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	評価		参考図(別紙可)	
					可能性	重大性			可能性	重大性		
準備作業	共通	・作業前ミーティング										
		1	新規入場者のチェックをする。	現場、施工方法等について十分な知識を有していない。	2	2	4	新規入場教育の受講	職長	1	2	元請施工計画書、施工図、略図、写真等を添付し、作業環境に即した物とする。
		2	健康状態を確認する。	風邪、飲酒等により正常判断ができない。	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行う。	職長	1	1	
		3	服装、保安用具の点検をする。	自発光チョッキの球切れがある。からまんでの音が鳴らない。	2	2	4	規制員に、事前点検を実施させる。	全員	1	2	
		4	機械・規制材等の準備、点検をする。 (痛んだ規制材は使わない、点灯確認)	協議書に基づいた規制材でない。車両の不具合。 規制時に視認性が悪い。	2	1	2	担当者との協議書を元とする事前打合せをする。 事前点検を確実に実施する。	全員	1	1	
		5	朝礼、KYミーティングを行う。	漠然と現場に入り事故を起こす。	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する。	全員	2	1	
		6	作業手順の確認をする。	各自の作業が分かかっていない、現場で不安全行動を起こす。	3	1	3	個人の作業内容、作業手順を確認する。 緊急時の合図、連絡方法を確認しておくこと。	全員	2	1	
7	車両点検、荷姿、プレートチェックをする。	積荷等が落下する。 資機材、規制材の落下。 業務用プレートの不正使用。	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを自主とメンテ職員にて行う。 ラバコンなどをアオリより出さない。ロープによる養生。 プレートチェックを自主とメンテ職員にて行う。	全員 職長	1 1	2 1			
移動	共通	・現場への移動										
		1	交通ルールを守り運転する。	人身、物損事故。携帯電話使用。シートベルト。あおり運転。	2	3	6	乗客の一員であることを自覚して運転する。ドライブレコーダーの正常に動かし確認する。	運転手	1	2	
		2	高速道路に入る前には、プレートを確認しておく。	プレート区域外使用。	2	1	2	車両点検時、荷姿チェック時に確認しておく。(自主、メンテ職員)	運転手	1	1	
3	車両は、ハンドル切、サイドブレーキ、 輪止めを必ずする。	車両が動いて、他のものに接触する。	1	2	2	運転席には、ハンドル切、サイドブレーキ、輪止め	運転手・助手	1	2			
本作業	共通	1	職長は、安全管理に心がける。	作業員の不安全行動。	3	1	3	職長は作業より、安全管理仕上げ具合に留意する。	職長	2	1	
		2	移動式クレーンによる材料・機械の荷卸。	アウトリガーの張出し不足・地切り不足による転倒。 玉掛の不具合(重心ミス、1点吊)により材料を高所から落下。	2	3	6	技能講習受講者が、設置後アウトリガーをすべて確認する。 技能講習受講者が、玉掛状態(重心、2点吊)を確認する。	技能講習受講者	1	2	
		3	コンクリート面ハツリ及び鉄筋防錆	高所作業の場合点検ハンマーを手から滑らせ落下させる	2	2	4	滑り止め手袋を着用し作業を行う	作業員	2	1	
		4	浮き範囲のマーキング									
		5	コンクリート面ハツリ	ハツリガラが飛散し目に入る 高所作業の場合ハツリガラを落下させ監視員にあたる	2	2	4	防護眼鏡を着用する 高所作業車バケットに落下防止ネットを行う	作業員 全員	1 2	1 1	
		6	鉄筋防錆	露出した鉄筋をワイヤーブラシにてケレンする	ケレン時の粉塵が飛んで目に入る	2	2	4	ディスクサンダーに飛散防止カバーを装着して作業する 防護眼鏡を着用する	作業員	2	1
		7	ターマラスト塗布	スプレーが飛んで目に入る	2	2	4	防護眼鏡を着用する	作業員	1	1	
		8	亜硝酸リチウムゲル塗布	手にゲルが付着する	2	2	4	手袋を着用する	作業員	1	1	
		9	保護スプレー塗布	かため太郎を塗布する	スプレーが飛んで目に入る	2	2	4	防護眼鏡を着用する	作業員	1	1
		10	発生材積込	廃材の積込。	乱暴に積み込んで足に落下させケガをする	2	2	4	1回に積み込む量は土嚢袋にてまとめ1袋ずつ丁寧に積み込む 安全靴の着用。	全員	2	1
後片付け	共通	1	資機材の積込	発電機等重量物を積み込む際足に落下させケガをする	2	3	6	積み込む際は2名で行い滑り止め付きの手袋を着用する 安全靴の着用。	全員	2	1	
		2	発生材積込									
移動	上部記載											
離脱	共通	・作業後ミーティング										
		1	報告業務	作業の進捗、施工完了場所、次回作業の報告忘れ 現場の問題点、業務に支障がでる報告忘れ	3	3	9	進捗、作業状況、次回作業場所の確認を全員に周知する。 問題点、注意点は全員に共有する。				
2	機械・規制材等の故障報告をする。	機械・規制材の故障によって次回作業ができない。	3	3	9	故障や破損は当日に報告し交換等が必要なら交換しておく。						
共通事項	(1) 作業箇所の監視員の注意喚起等による安全対策の徹底!											
	○1人作業は禁止											
	○監視員を必ず配置する。											
	・緊急時の合図や避難場所も確認											
	(2) 当日の作業内容の確認の徹底											
○KY時に当日の作業内容、使用工具等の確認を行う												
○予定外作業が発生した場合は総合職担当者に報告のうえ状況によっては作業中止、作業を行う場合は作業前に現地KYを実施したうえで行う												